

英彦山のソウシチョウ調査の打ち合わせ（議事録）

8月11日10時～12時：ふるさと館おおう、にてソウシチョウ調査について打ち合わせを行いました。

後藤文嗣さんが1992年から5年間調査された調査方法や結果内容もお聞きしながら今回の調査について下記の通り了解されましたので報告致します。

記

- 1、出席者：後藤文嗣、木村直喜、有働孝士、林孝、真鍋直嗣、中村照美、志水めぐみ、広塚忠夫、
- 2：調査日等：8月18日（火）JR彦山駅8時30分集合し、調査方法など再確認して調査に出発する。
3. 調査名称：英彦山ソウシチョウ生息調査 第一回（略称：英ソウ：えいそう）
4. 調査の性格：予備調査
- 5：調査目的：ソウシチョウの個体数調査と合わせて他の鳥類生息調査も行う。この調査結果を総括して、今後の英彦山鳥類生息調査方法等を検討する。
その場合、後藤さんらが行った調査結果を参考にする。
- 6：調査方法：・ラインセンサス：歩く早さでソウシチョウのカウント
・原則、ルート図面にソウシチョウ・他の鳥類を記入
・ルート左右50m範囲
・ルート図面と調査用紙は事務局で作成
- 7：コース&担当
 - ・ ①豊前坊～北岳～英彦山（林・志水） ・②奉幣殿～英彦山（木村） ・③奉幣殿～梵字岩～鬼杉上～南岳～英彦山（広塚） ・④野営場～スキー場～バードライン～英彦山（有働）、 ⑤深倉園地～草木が峠（後藤）、その他： ⑥薬師林道 ・⑦裏彦登山道、 ⑧経読林道
- 8、記録項目
調査日時、天気、風（弱・中・強）、気温（出発・終点を記録）ソウシチョウの確認個体数（鳴き声確認を含む）及びその他鳥類
- 9、その他
更に、事務局から会員に調査協力をお願いする。
調査結果により、今回のみならず今後の継続可能性について評価する。
（注：本資料は、8月11日配布の討議資料を詳細化し更新したものです）